

進捗報告書（実行団体）

事業名:	不登校相談窓口支援と居場所つなぎ支援
資金分配団体:	特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク
実行団体名:	特定非営利活動法人キーデザイン
実施時期:	2020年6月～2021年2月
事業対象地域:	栃木県中心
事業対象者:	不登校に悩む子どもとその家族

Version 1.2

日付: 2021年10月26日

I. 事業概要

事業概要
①個別のLINE相談窓口開設、複数人で相談しあう親の会の運営 親が気軽に相談できるLINE相談窓口(電話も可)を開設、運営。共に子ども、家族の問題に向き合い伴走する。※現在開設から約1年が経ち、登録者数403名またそのLINE相談窓口利用の保護者から希望者を募り、オンラインで親同士が悩みを共有、相談し合える機会を月1回程度行う。
②県内居場所マップの作成 県内の子ども・保護者のニーズに対応できる支援機関とネットワークをつくり、県内の居場所を一覧にしたマップを作成する。作成したものは、県内の居場所・中間支援センター、子ども家庭支援団体、各企業、飲食店、病院等々に設置し広く周知をはかる。

II. 進捗報告の概要

総括
LINE相談支援、親の会の実施などはニーズも高く、計画よりも多い利用を受けて進めることができている。懸念は、居場所マップの配布方法について。制作自体はできるが、配布方法としてあげていた学校への直接配布という点において、教育委員会からの許可を得ることに難航しており、前に進めずにいる。教育委員会の承認を得て進めるためには、時間がかかる上（今年度中の配布は現実的ではない）に、内容についても自由度は減り、本当に困っている方に必要なものを作成することができるか危ぶまれる。時間が経つにつれて、子ども保護者の抱える問題は深刻化するため、早急にマップを作成し配りたいため、何を優先すべきか、また他に方法はないか、11月中に社内で調整し決定を下す。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①相談窓口、親の会 両利用者合わせ計100名が利用し、不登校の子どもの子育てを孤立せず行うことができている。 ②居場所マップ マップが完成し、子ども支援団体、中間支援センター、飲食店、小売店など50か所以上に設置され、不登校で行き場のなくなった子ども達に行き場ができる。	①LINE窓口だけでも、11月中旬時点で300名近くの登録があり好調である。親の会もオンラインで実施し、現時点で計9名の方の参加があり、新たに父親向けの親の会も企画、実施している。 ②マップ作成については、上記の通り、教育委員会との連携で難航しストップしている。マップのデザインイメージ（どこにどんな情報を配置するかといった基本デザイン）はできており、居場所のリストアップもほとんど完了している。「必要な情報を」「一人でも多くの方に」「問題が深刻化する前に」届けることが重要であるため、学校への配布をやめ、独自に作成する方向で調整中。

活動	進捗状況	概要
・LINE相談窓口運営 ・マップ作成	遅延あり	・LINE相談は問題なし。 ・マップ作成は上記に書いてある通り、教育委員会との連携に難あり。うち独自に作成する方向で調整する予定。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
①相談窓口、親の会	<p>次年度以降の運営のために、クラウドファンディングを実施。まずはこれにより今回の助成金+アルファの資金を調達することができたため、次年度の運営は可能になった。支援員1名増員についても、寄付等を使いまかなう予定。宇都宮医師会との連携も充実してきており、不登校児童生徒への健康診断の実施について話し合い、医師会より市長へ提言。また市内400か所の児童生徒の通う可能性のある病院へ、LINE相談窓口の案内カード、パンフレットの配布が完了。病院へ相談のあった不登校家庭について、情報共有し、連携を図るケースも出てきた。また経済的困窮による弊害が大きい家庭については、市内の他NPOと連携しケアにあたってもいる。親の会については、母親・父親の双方に別の場を用意し、月1~2回程度開催している。利用料も1,000円/回徴収し運営している。満足度も高いため、まずはこのまま継続し、細かな運営方法について都度改善していく。</p>
②居場所マップ	<p>想像よりも教育委員会の壁は厚く、簡単にはいかない様子。マップの作成自体はそう時間がかかるものではないため、現時点では目的達成のために何がベストなのか、また短期的な視点ではなく、長期の視点で計画を立て、どうすることがより多くの家庭に情報を届ける可能性を高めるのか思索した上で、決断を下す。11月中に方向性を決め、12月に行動を開始する。</p>

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥2,781,100	¥2,781,100	¥1,038,738	37%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥2,781,100	¥2,781,100	¥1,038,738	37%
補足説明		特になし				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>予想以上にニーズが高くあり、相談件数がのびているため、支援員がギリギリの状態であること。また相談者の子どもの中には発達障がい診断・疑いのある子どもが多くいるため（肌感覚で5割以上）、発達障がいについての知識、支援方法等を独自に学ぶ機会を設けるか、内部に入れ支援方法について相談できるような環境を整えたいと考えている。</p>

VII. その他

自由記述
特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	<ul style="list-style-type: none"> ・下野新聞11/5 ・産経新聞11/17 ・CRTとちぎ放送11/14 ・8bitNews（YouTubeチャンネル：https://www.youtube.com/watch?v=XhRYWVvo6uw） ・NHK放送（おはよう日本）11/19 ・まちびあ情報誌10月（秋号） ・ぼぼら情報誌10月
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	